

祝・四季が丘 20年

広報 四季が丘

No.33

四季が丘地区コミュニティづくり協議会広報部 発行
〒738-0036 広島県廿日市市四季が丘5丁目13番地の3 ☎0829-38-3365
✉sikicomm@do9.enjoy.ne.jp http://ww6.enjoy.ne.jp/~sikicomm/

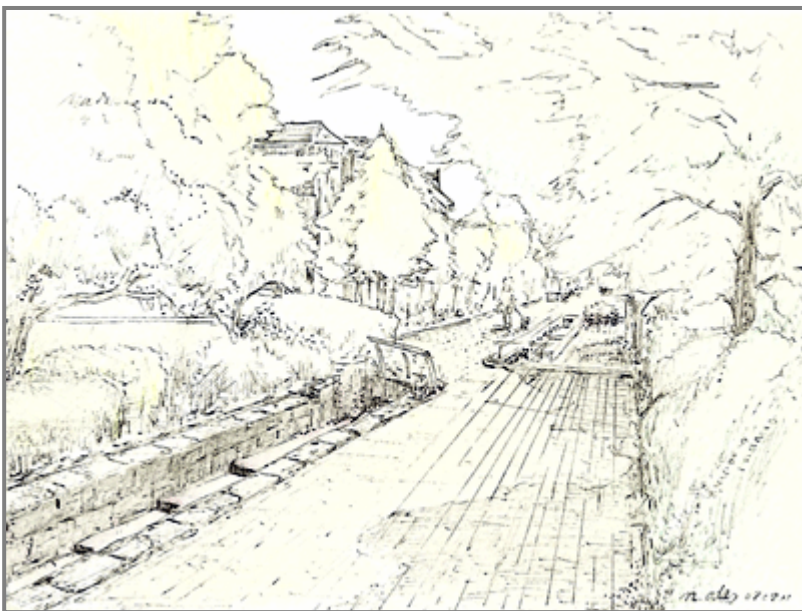
瀬戸内海を望む高台に広がる四季折々の季節感溢れる四季が丘団地。
テーマごとに統一された美しい街並み、人と自然とのあり方を提案するグリーンネットワーク、人と車との共存を実現した生活街区など、建設大臣表彰（1996年）受賞にも輝く我が町「四季が丘」に、第1期宅地分譲が行われたのは昭和62年5月（販売区画：11丁目、57区画、平均倍率：4.6倍、即日完売）のことでした。

季節感を持たすため、街路樹には落葉樹を植樹し、イメージハンブやインターロッキングなどの設置により、人と車とが共存できる条件を確保したコミュニティ道路の建設、バレンシア街区・学園通り街区・公園通り街区など、街区ごとに演出された統一感ある分譲戸建群、幼稚園・学校・郵便局・公民館・スーパーマーケット・ショッピングセンター・医療機関などの諸施設に加え、路線バスやさくらバスの整備・充実など、現在では2,082世帯/人口6,851人（2007年4月現在）を有する、廿日市市でも有数のビッグ団地に発展してきました。

今年（2007年）は四季が丘団地誕生からちょうど20年目。今号と次号の「広報四季が丘」では、皆様と一緒に改めて四季が丘20年の歩みを振り返ってみたいと思います。

今号No.33のテーマは「四季が丘20年の総括及び夏祭り篇」です。記事作成にあたり、近鉄不動産株式会社様、有限会社アクトホーム様、廿日市市分権政策部総合政策課様ほか多くの皆様のご協力をいただきました。ここに改めて御礼申し上げます。

なお、次号No.34ではスポーツ大会・ポポロコンサート・とんど・自主防災などの「個別テーマ篇」を予定しています。どうぞお楽しみに！



ブルパール



目次

◇これからの四季が丘

◆四季が丘20年の歩み
（総括篇）

四季が丘団地の変遷
地域の出来事
社会の出来事

◆四季が丘夏祭りの歩み

◆四季が丘夏祭り2007
～花火上がった300発！～

これからの四季が丘 ～住みやすい街づくりを目指すコミュニティ活動へ～

四季が丘地区コミュニティづくり協議会
会長代行 田中 憲次

四季が丘に最初の入居が始まってより、今年で20年の記念すべき節目を迎えます。人間でいえば成人式を迎えるわけであり、本当に感無量の思いがあります。

その当時、どこの団地も出来上がって10年も経てば町も落ち着いてくるといわれていましたが、ここ四季が丘に於いては、販売を一挙に行うことなく、年々計画的に販売されてこられたという経緯から、他の団地とは違って、「いつまでも若い町ですね」と言う声をよくお聞きしたものです。

反面、団地内にお住まいの多くの方が、当時の交通事情もあったのですが、早朝仕事に出て行っただけ、家庭には夜寝るために帰るだけの生活パターンで、昼間の四季が丘には人影もまばらという状況もありました。

バスの増便や新路線の開設、公共施設の設置・開所などに一喜一憂したものです。



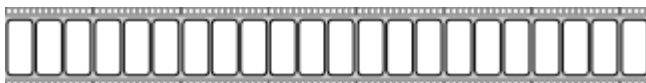
ポポロ公園の桜

あれから20年、販売区画も殆どが終了し、ようやく町も成熟期を迎え、落ち着いてきた様に感じております。

しかしながら時代の変化も激しく、取り巻く環境も悪化の傾向を加え、決して楽観できるものでもないと思っております。

幸いにも団塊の世代の皆様方の大量退職の時期を迎え、新たに地域へのデビューの動きも見られる様になってまいりました。生産性・効率・競争等のいわゆる企業の論理を持ち込まない、様々な形態のご家族・異なる職業の個人個人が、自由に束縛されないでコミュニケーションが取れる、そして結果として「偏らない・誰もが安心して暮らせる街づくり」こそが理想ではないかなと思っております。

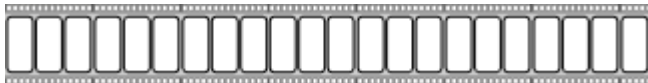
四季が丘団地20周年にあたり、「街づくりは仲間づくり」を合言葉として、住民満足度No.1の四季が丘を目指して、皆様と一緒に地域コミュニティ活動を推進していければと願ってやみません。



総括篇

四季が丘 20年の歩み

昭和62年(1987年)5月
～平成19年(2007年)4月




四季が丘団地の20年を、地域や社会の出来事と較べながら、あらためて振り返ってみましょう。皆様の思い出の年には、四季が丘ではどんなことがあったのでしょうか・・・。

- 昭和62年(1987年)
 - 5月 第1期四季が丘宅地分譲開始(11丁目) 🕒即日売完 📈平均倍率4.6倍
 - 9月 第1期四季が丘ホームスクウェア開設(11丁目)
 - 10月 第3期注文住宅用地販売開始(24区画)(9丁目) 👉先着順受付
 - 12月 広電バス四季が丘線運行開始

(この年のおもな出来事)	(流行語・流行った物)	(映画・歌)	(物故)
国鉄分割・民営化、JR発足 地価の異常高騰	サラダ記念日	トップガン	石原裕次郎

<p>●昭和63年(1988年)</p> <p>4月1日現在 世帯数 32 全人口 110</p>	3月	JR 宮内串戸駅開業 		
	4月	廿日市市制施行		
	7月	四季が丘街びらきフェア：プールパール開水式開催、11丁目町内会設立		
	9月	第2期分譲住宅分譲開始(27区画)(6丁目)	☞先着順受付	☞平均倍率 1.2倍
(この年のおもな出来事)		(流行語・流行った物)	(映画・歌)	(物故)
瀬戸大橋開通、青函トンネル開通		光 GENJI	となりのトトロ	宇野重吉
<p>●平成1年(1989年)</p> <p>4月1日現在 世帯数 221 全人口 784</p>	9月	四季が丘近鉄販売センター開設		
	11月	ハーモニティプラザ四季が丘開業 スーパーふじおか四季が丘店開店		
		第11期注文住宅用地販売開始(20区画)(4丁目)	☛即日完売	☞平均倍率 3.1倍
	(この年のおもな出来事)		(流行語・流行った物)	(映画・歌)
リクルート事件、消費税スタート ベルリンの壁崩壊		オバタリアン セクハラ	ダイハード 川の流れるように	美空ひばり 手塚治虫
<p>●平成2年(1990年)</p> <p>4月1日現在 世帯数 487 全人口 1,765</p>	1月	第7期分譲住宅分譲開始(24区画)(5丁目)	☛即日完売	☞平均倍率 9.9倍
	4月	ハーモニティプラザ四季が丘内専門店開店		
	7月	第9期分譲住宅分譲開始(24区画)(5丁目)	☛即日完売	☞平均倍率 16.4倍
	8月	四季が丘テニスコート完成		
10月	第10期分譲住宅分譲開始(22区画)(4丁目)	☛即日完売	☞平均倍率 16.1倍	
(この年のおもな出来事)		(流行語・流行った物)	(映画・歌)	 (物故)
バブル崩壊、東西ドイツ統一		オヤジギャル、アッシー君	愛は勝つ、ゴースト	藤山寛美
<p>●平成3年(1991年)</p> <p>4月1日現在 世帯数 785 全人口 2,847</p>	4月	四季が丘公民館開館、寿会発足、四季が丘中学校開校 四季が丘公園(ボポロの森)開園	生徒数 401名	
	5月	第16期注文住宅用地販売開始(26区画)(5丁目)	☛即日完売	☞平均倍率 1.7倍
	10月	第18期注文住宅用地販売開始(12区画)(1丁目)	☞平均倍率 1.1倍	
	(この年のおもな出来事)		(流行語・流行った物)	(映画・歌)
湾岸戦争勃発、ソ連崩壊		茶髪、ジュリアナ東京	SAY YES	本田宗一郎
<p>●平成4年(1992年)</p> <p>4月1日現在 世帯数 1,001 全人口 3,609</p>	4月	四季が丘コミュニティづくり協議会設立、四季が丘小学校開校 四季が丘2次住宅地造成着工、広電バス増便(46便/日)	児童数 585名	
	6月	第20期注文住宅用地販売開始(16区画)(2丁目)	☞平均倍率 0.7倍	
	9月	第18期分譲住宅分譲開始(15区画)(8丁目)	☛即日完売	☞平均倍率 2.8倍
	10月	第21期注文住宅用地販売開始(16区画)(3丁目)	☞平均倍率 1.6倍	
11月	第19期分譲住宅分譲開始(18区画)(10丁目)	☞平均倍率 2.1倍		
(この年のおもな出来事)		(流行語・流行った物)	(映画・歌)	(物故)
就職氷河期 日本人初の宇宙士毛利衛さん宇宙へ		もつ鍋		尾崎豊 松本清張
<p>●平成5年(1993年)</p> <p>4月1日現在 世帯数 1,164 全人口 4,226</p>	4月	くすのき幼稚園開園	園児数 180名	
	7月	スーパーふじおか四季が丘店増床		
	10月	アコールプラザ四季が丘オープン、四季が丘クリニック・グリーン歯科オープン		
	12月	第22期分譲住宅分譲開始(20区画)(3丁目)	☞平均倍率 1.2倍	
(この年のおもな出来事)		(流行語・流行った物)	(映画・歌)	(物故)
サッカーJリーグ開幕		イエローカード	負けないで	

- 平成13年(2001年) 1月 第42期分譲住宅分譲開始(8区画)(2丁目) ●先着順受付
4月1日現在
 世帯数 1,797
 全人口 6,324
 4月 四季が丘小学校パソコン教育導入
 ※四季が丘中学校(生徒数809名)開校10周年行事

(この年のおもな出来事) (流行語・流行った物) (映画・歌)  (物故)


米国同時多発テロ バラバラ ハリーポッター

- 平成14年(2002年) 7月 ポポロの森野外コンサート始まる
4月1日現在
 世帯数 1,808
 全人口 6,335
 11月 第43期分譲住宅分譲開始(11区画)(2丁目) ●先着順受付
 ※四季が丘小学校(生徒数698名)開校10周年行事
 ※この年より公立学校完全週5日制実施

(この年のおもな出来事) (流行語・流行った物) (映画・歌) (物故)

欧州通貨統一(ユーロ) ロード・オブ・ザ・リング 范文雀

- 平成15年(2003年) 4月 四季が丘コミュニティホームページリニューアル
4月1日現在
 世帯数 1,840
 全人口 6,428
 9月 四季が丘地区第1回敬老会開催

(この年のおもな出来事) (流行語・流行った物) (映画・歌)  (物故)

SARS 集団発生 オレオレ詐欺 世界に一つだけの花 いかりや長介

- 平成16年(2004年) 5月 四季が丘自主防災連絡協議会設立
4月1日現在
 世帯数 1,901
 全人口 6,539
 9月 第47期分譲住宅分譲開始(10区画)(四季が丘上) ●先着順受付

(この年のおもな出来事) (流行語・流行った物) (映画・歌) (物故)


鳥インフルエンザ騒動 韓流、ヨン様 マツケンサンバ

- 平成17年(2005年) 8月 第48期分譲住宅分譲開始(10区画)(3丁目) ●先着順受付
4月1日現在
 世帯数 1,935
 全人口 6,399

(この年のおもな出来事) (流行語・流行った物) (映画・歌) (物故)

個人情報保護法施行 小泉チルドレン 青春アミーゴ、さくら 岡八郎

- 平成18年(2006年) 4月 四季が丘地区世帯数2,000世帯を超える
4月1日現在
 世帯数 2,010
 全人口 6,756
 7月 四季が丘夏祭りポポロ公園で開催
 9月 ポポロの森コンサート5周年記念実施

(この年のおもな出来事) (流行語・流行った物) (映画・歌)  (物故)

ライブドア事件 イナバウアー ダ・ヴィンチ・コード 岸田今日子



- 平成19年(2007年) 4月 四季が丘上町内会発足
 2007年4月1日現在 5月 四季が丘入居20年
 世帯数 2,082 全人口 6,851

2007年秋
 ポポロに集まれ~!

9/15(土)
 PM4:00~7:30
 (予定)



四季が丘夏祭りの歩み

「四季が丘夏祭りの移り変わり、そこから生まれた伝統」

第18回四季が丘夏祭り実行委員会
実行委員長 越山 浩則

1987年（昭和62年）5月に、ここ四季が丘団地の分譲が開始され、20年が経過した。

私が入居したのは、1991年の10月である。翌年4月に四季が丘小学校が開校になる前の年で、上の子どもが数ヶ月間、宮内小学校に通っていたことからこの年を覚えている。また、1991年といえば、巨大な台風19号が日本全土に甚大な被害もたらした年でもあり、入居前の台風だったことから、高い住宅ローンを組んで買った家が壊れはしないかと心配をしたことも深く記憶している。幸いにも、家は台風にも耐えてくれ、心弾ませて新居に移ってきた。入居から16年も経ったいまでは、庭の樹木も大きく成長し、住み慣れてきたと感じる一方で、家の内外に目立ってきた傷みや汚れなど、多少くたびれてきていると感じるのは我が家だけではないのであろう。

私生まれ育った田舎での昔の夏祭りといえば、寺の境内に灯された提灯の薄明かりのもと、親からもらった少ない小遣い片手に屋台で菓子を買ひ、近所のおっちゃんたちや学校の先輩、同級生らが楽しげに太鼓の調子に合わせて踊る盆踊りの輪に、見よう見まねで自然と入って踊っていたのを思い出す。

私が越してきたときの四季が丘の夏祭りは、どの新興住宅団地もそうであるように、若い夫婦と小さい子供たちが楽しむ祭りで、田舎とは違った賑わいがあった。団地を分譲する近鉄不動産が主催し、小学校のグラウンドに大きくて立派なステージが生まれ、プロの司会者の進行で、ステージではカラオケ大会や抽選会などで随分盛り上がっていたように記憶している。グラウンドにはブルーシートが敷かれ、靴を脱いでそこに上がり、近所の人たちやテニス仲間たちとテーブルを囲んで、強い風が吹くと土ぼこりが巻き起こる中、ビール片手に屋台で買った物を食べたのを覚えている。

近鉄不動産も団地が順調に売れるにつれて、夏祭りからも次第に手を引いていき、代わりに町内会運営へと少しずつ移行していったのも自然の流れであろう。それに連れてその当時、夏祭り運営に携わった人たちの苦労も始まったと、当時携わった人たちは苦い経験を振り返る。

機材の手配は、近鉄不動産にしばらくは支援をしてもらっていたが、当時のコミュニティーづくり協議会の亀谷会長をはじめ、役員が中心に



平成7年の夏祭り記事
(広報四季が丘 No.11)

なり、屋台の段取りや会場設営をして、本当に手探りで、苦労の耐えない時期を乗り越えてきたと聞く。ある年には、片付けに20人ほどしか集まらず、夏真っ盛りの灼熱の中で小学校グラウンドに皆がへたり込んだことを今でも強烈に記憶されているとのことだ。

その当時から年の移り変わりとともに夏祭りがどのような歴史をたどってきたのか、少し振り返ってみたい。

いまから10年前の1997年は、近鉄不動産最後のステージイベントの予定であったが、台風接近で残念ながら中止となった。この経験もあり、少々の雨が降ってもできるようにと、翌年から夏祭り会場が小学校体育館を中心にした構成に変更された。

1998年には、4丁目の島村さんが夏祭り実行委員長に就任され、それまでコミュニティーづくり協議会役員中心の実行委員会から少しずつ変化が生じてきた。

島村さんは、夏祭りに対する熱い情熱を注ぐ方であった。ちょうど時を同じくして、四季が丘に住んでいるおじさんたちの娯楽と交流の場として作られた、ソフトボールリーグの各町内会チームから、島村さんの誘いで多くの人たちが夏祭り実行委員として参画するようになっていった。毎年4月から7月末の夏祭り当日まで、祭りの内容企画検討や資金繰りなど、実行委員の皆で熱い議論と準備に奔走するなかで、現在の運営形態の原型ができあがってきた。

私が実行委員として携わるようになったのは、島村さんが実行委員長になった年である。

実行委員会に参画するようになった誰もがそうであったのと同じように、私も訳が分からないまま、いつのまにか実行委員メンバーの一人となっていた。そして、夏の暑い時期になると、実行委員は、総務・イベント・屋台・会場といったそれぞれの役割を担って、夏祭りの盛り上げに熱くなっていた。

夏祭りを開催するには、かならず資金が必要となるが、10年前ころの役員は特に苦勞をされていた。この当時は、各町内会に屋台運営を割り振り、その屋台収入を頼りに運営をしていた。しかし、屋台収入だけでは、音響や照明の費用負担ができないという、とても正常な状態での夏祭りを運営できない時期にきていた。

2000年の夏祭りを最後に近鉄不動産の支援がなくなり、新たな資金確保の手段として協賛金集めに取り組んだ。5月から6月にかけて、実行委員が手分けをして、祭りの法被を着て協賛金集めに頭を下げて回るようになり、それは今も続いている。ちなみに、一団地で行なう夏祭りとしてはレベルが高く良くできていると、印刷会社をはじめ色々な方から高い評価をいただいている夏祭りパンフレットができているのも、この協賛金のおかげでもある。

同時に、夏祭り運営を助成していただくため各戸から500円を拠出していただくようになったのもこの時期である。



夏祭りの運営体制の確立とともに、イベントなどにも多く人が夏祭りに参加し、もっと楽しめるものへと充実を図り、現在のものが形成されていた。小学校校舎からグラウンドに下りる階段を観客席として、階段前に特設ステージを組んで、バンド演奏やダンス、着ぐるみショー、吹奏楽演奏、対抗ゲーム、ビンゴなどのステージ出演やイベントを取り入れるようになった。私は、そのころからステージでの企画運営と司会進行を担当している。

運営費の一部としていた各町内会分担の屋台収益制を取り止め、2003年からは屋台出店が自由参加となった。花火打ち上げも、専門業者をお願いをしていたものを実行委員メンバーが自前でできるように移行してきた。自分たちでできることは自分たちです、という流れであったと思う。



島村さんが転勤されることになったことから、2006年から実行員委員長を引き継ぐことになった。

この年に取り組んだ一番大きなことは、会場を「ポポロ公園」に移すこと。夏祭りをポポロ公園で実施するという構想は、数年前から実行委員会の中では議論されていたが、なかなか実行できずにいた。芝生の上だから強い日差しの照り返しはないし、土ぼこりも起きない、そして、なによりも祭り全体に一体感が出ることは誰もが分かっていたが、初めてやることには予測できないこともあり、不安材料になっていたのも事実。しかし、2月には正式にポポロ公園構想を実現するために準備を開始した。また、順延開催をすることで日程を組んだのも、この年が最初である。幸か不幸か、最初にして、開催予定日が雨模様になることが予想されたことから順延としたところ、順延した日が最高の日和で、少々暑すぎた感はあるものの、初めてのポポロ公園での夏祭りを祝ってくれているように感じられた。

夏祭り当日は、特設ステージの前には大きな人だかりができ、屋台はどこも早々の売り切れ、盆踊りでは大きな輪が何重にも広がり、花火も前年の10発からポポロ公園での開催を祝い50発に増やし、祭りに来た人たちが心から喜んでくれていた様子が目の奥に焼き付いている。ビンゴカードの配布枚数や屋台の売れ行きなどから来場者数を試算すると、例年の2倍近くの約4,000人も人が来場されたと思う。夏祭りに長く携わってきた関係者の一人は、「こんなに盛り上がった夏祭りは初めてで、これまでの苦勞が報われた」と、興奮気味に喜びを表した。



このころの夏祭りへの個人的なかかわりで特に思い出すのは、着ぐるみである。1999年の夏祭りでは着ぐるみを2体出すことになり、そのうちの1体に入った。夏の暑い盛りに毛布地の着ぐるみを着て汗だくになりながらも、小さい子供たちが目を輝かせて着ぐるみに触ったり、声をかけてくれたりするのを着ぐるみの中から見える目を通して見ることができ、自分であって自分でない存在を感じられたのは、忘れられない経験の一つである。着ぐるみの中の汗の臭いとジメッとした感触とともに、いまでも懐かしく思い出される。

四季が丘の夏祭りは、年の移り変わりとともに、主催が変わり、運営方法が変わり、場所が変わり、内容が変わってきた。その移り変わりの中で生まれた伝統がある。それは、**夏祭りは「四季が丘に住む自分たちで作**り、参加し、楽しむ」こと。ポポロ公園での開催も、その思いから生まれた結果の一つである。

夏祭りには、四季が丘に住むたくさんの人たちが携わっている。最初は、亀谷会長と5人ほどの役員で始まったものが、ソフトボールリーグメンバーを中心に実行委員会に参加し、現在では各町内会から毎年2人ずつ推進委員を選出してもらって運営をしている。





寿会の皆さんには盆踊りや本部運営などで、各町内会からは準備、片付けで、多くの皆さんにお手伝いいただいている。花火打ち上げは、講習を受けて自前でできるようにしてきた。やぐらやステージ組み立て、音響では専門の技能を持った町内の方が設営運営をしている。パンフレットの表紙デザインや協賛広告原稿などの作成で特殊な技能を提供しているのも町内の人である。

四季中からは、放送演劇部がステージの司会進行や本部アナウンス、着ぐるみショーで参加している。ステージ出演では、フラダンスのご婦人方や、ダンスを踊る子供たち、四季中吹奏楽部の皆さん、盆踊りの太鼓や振り付け、そこに登場し活躍しているのは、すべて四季が丘の人たちとその仲間の人たちである。

夏祭りを通して見えてくるのは、四季が丘には本当に素晴らしい人たちがたくさんいるということ。人材の宝庫といっても過言ではない。小さい子どもから小学生、中学生、大人までが、一丸となって参加し楽しんでいるからこそ、盛り上がるのだと思う。私は、夏祭り運営を通して、そのことをいつも思い知らされる。そして、四季が丘住民の一人として、誇りに思う。



四季が丘小学校では夏祭りでの太鼓演奏をきっかけに和太鼓クラブができた。今年も夏祭りでの演奏を目標に熱心に練習をしていると聞く。夏祭りを通して生まれた伝統が、四季が丘の子供たちにも伝わっているようで、なにかしら嬉しいものがある。

今年は、回数では第18回、四季が丘団地誕生20周年記念としての夏祭りを迎える。20周年記念だからといって、これといった特別な企画はないが、目玉として300発の花火打ち上げを計画している。今年の夏祭りも、四季が丘に住むたくさんの人たちが、汗をながしながらも楽しんでいる姿を目に焼き付けたい。

(2007年6月)



四季が丘夏祭り 2007



と き： 平成 19 年 7 月 21 日 (土) 16:00~21:00
と ころ： 四季が丘ポポロ公園

- 屋台 ●くじ引き抽選会 ●ビンゴ
- ステージイベント
- 和太鼓、吹奏楽、バンド演奏、
- ダンス、着ぐるみショー、落語ほか
- 盆踊り
- 花火打ち上げ



花火上がった、300発!



響け、祭り太鼓!

空前の人出で賑わった「第18回四季が丘夏祭り」のテーマは、「みいつけた!ここにも、そこにも、四季が丘の良さ、夏祭りの楽しみ」

特設ステージで繰り広げられる熱演に湧き上がる歓声と拍手。迫力のライブバンド、気品溢れる社交ダンス、チビッコからお年寄りまで大きな輪になった盆踊り、響く祭り太鼓、四季が丘夏祭り始まって以来、最高の盛り上がりの中で、迎えた花火打ち上げ・・・、ポポロ公園の興奮はいよいよ最高潮へ!

この感動を忘れずに、皆様、また来年もポポロの夏祭りでお会いしましょう!



宝くじ助成事業(一般コミュニティ助成事業)でコミュニティで購入の特設ステージ。はからずも夏祭りがお披露目となりました。